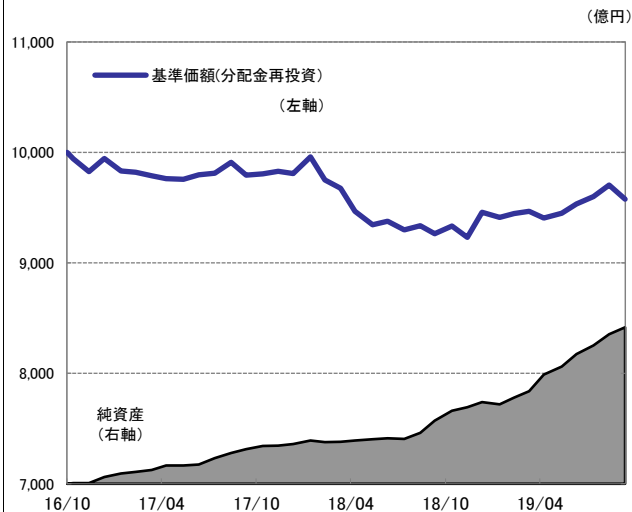


運用実績

2019年9月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものとして計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 9,576 円

※分配金控除後

純資産総額 2.8億円

- 信託設定日 2016年10月20日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則、3月29日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1か月	-1.3%
3か月	0.5%
6か月	1.2%
1年	3.4%
3年	-

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 -4.2%

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

年次	分配金
2019年3月	0 円
2018年3月	0 円
2017年3月	0 円
-	-
-	-

設定来累計 0 円

設定来=2016年10月20日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

投資信託組入配分

2019年9月30日 現在

投資信託	運用会社	純資産比
グローバル・アセット・モデル・ファンドF	野村アセットマネジメント	58.8%
ノムラスmartプレミアムF	野村アセットマネジメント	30.0%
クレディ・スイス(ルクス) マルチ・トレンド・ファンド クラスEBH	クレディ・スイス・アセット・マネジメント・エル・エル・シー	10.3%
-	-	-
-	-	-
コール・その他	-	0.9%
合計		100.0%

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

ノムラスマートプレミアムマザーファンドの資産内容

2019年9月30日 現在

資産別配分(純資産比)						
		現物		先物		合計
株式	先進国株式	6.8%	4.2%	11.1%	12.8%	17.0%
	新興国株式		2.5%		-1.6%	0.9%
債券	先進国債券	59.0%	30.6%	308.7%	308.7%	339.3%
	新興国債券		10.4%		-	10.4%
	物価連動債		16.0%		-	16.0%
	事業債等		2.0%		-	2.0%
リート		3.5%		-		3.5%
商品		7.3%		-		7.3%
短期金融資産		23.4%		-		23.4%
合計		100.0%		319.8%		419.8%

実質通貨配分(純資産比)	
先進国	
円	117.0%
米国ドル	-37.8%
カナダドル	13.2%
ユーロ	-15.2%
イギリスポンド	-1.7%
オーストラリアドル	12.4%
スイスフラン	-5.3%
スウェーデンクローナ	-3.5%
ノルウェークローネ	7.3%
その他	0.9%
新興国	
合計	12.6%
合計	
合計	100.0%

・先進国、新興国の区分は野村アセットマネジメントによるものです。
・株式、新興国債券、物価連動債、事業債、リート、商品への投資はETFを含みます。

リスク特性値	
デュレーション	18.7年

・デュレーションは、組入債券(現金を含む)のデュレーションを、その組入比率で加重平均したものです。野村アセットマネジメントによる推計値です。

・実質通貨配分は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。
・その他には、米国ドル建てETFを含みます。
・新興国には、現地通貨建新興国債ETF、新興国株式指数先物、台湾株式指数先物の投資比率を含みます。

グローバル・アセット・モデル・ファンド マザーファンドの資産内容

2019年9月30日 現在

株式ポジション	
国・地域名	純資産比率
香港	4.6%
イタリア	4.3%
スペイン	4.0%
オーストラリア	3.9%
イギリス	1.6%
アメリカ	0.8%
オランダ	0.6%
ドイツ	-1.1%
日本	-1.5%
カナダ	-1.5%
スイス	-1.8%
フランス	-2.0%
合計	11.9%

債券ポジション	
国・地域名	純資産比率
オーストラリア	40.2%
イギリス	17.2%
日本	-11.2%
ドイツ	-13.5%
アメリカ	-15.8%
カナダ	-28.7%
合計	-11.8%

通貨ポジション	
通貨名	純資産比率
ユーロ	56.1%
スウェーデンクローナ	27.8%
NZドル	2.7%
イギリスポンド	-4.4%
カナダドル	-4.9%
スイスフラン	-9.2%
オーストラリアドル	-19.3%
米国ドル	-51.2%
合計	-2.4%

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

クレディ・スイス(ルクス) マルチ・トレンド・ファンドの資産内容

2019年8月30日 現在

戦略別配分	
通貨	-49.0%
株式	-11.7%
債券	146.3%
商品	-6.3%

戦略別寄与度	
通貨	1.1%
株式	-1.9%
債券	2.3%
商品	2.0%

(出所)運用会社提供のデータより算出(運用会社とのデータ授受の関係により、開示は作成基準日の1か月前)。

(注)上記データは、当ファンドが投資する「クレディ・スイス(ルクス) マルチ・トレンド・ファンド クラスEBH(外国籍投資法人)」のマスターポートフォリオ(米ドル建て)のデータ。配分は月末における純資産に対する比率。寄与度は戦略別の寄与度で、信託報酬や為替ヘッジコスト等は考慮していません。

運用コメント

2019年10月4日 現在

○先月の投資環境

世界株式市場: 米中が貿易協議の再開を合意したことに加え、中国が米国からの輸入品に対する追加報復関税を一部免除すると発表したことや、トランプ米大統領が、10月1日に予定していた対中追加関税引き上げを10月15日に延期したことなどから、中旬にかけて堅調に推移しました。その後は、ウクライナをめぐるトランプ米大統領の弾劾問題などから軟調に推移する場面がありましたが、月間では値上がりとなりました。

世界債券市場: 米中貿易摩擦に対する警戒感が和らいだことなどから、中旬にかけて軟調に推移しました。その後、サウジアラビアの石油施設攻撃や、FOMC(米連邦公開市場委員会)で追加利下げが決定されたことなどから上昇する場面もありましたが、月間では値下がりとなりました。

為替市場: 米中貿易摩擦に対する警戒感が和らいだことなどから、主要通貨は月初から堅調に推移しました。その後はFOMCで追加利下げが決定されたことなどから円高となる場面もありましたが、月間では米ドル、ユーロは円に対して上昇となりました。

○先月の運用経過 (運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

月間のファンドの騰落率は-1.32%となりました。基準価額変動に対しては、「ノムラスマートプレミアムF」が主なマイナス要因となりました。

投資信託証券のフルインベストメント(高位組入)を維持しました。

株式会社ウエルス・スクエア(以下「ウエルス・スクエア」という)からの助言に基づき、組入投資信託証券への配分比率を見直した結果、「グローバル・アセット・モデル・ファンドF」の組入比率を引き上げた一方、「クレディ・スイス(ルクス) マルチ・トレンド・ファンド クラスEBH」などの組入比率を引き下げました。

○今後の運用方針 (以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

投資信託証券への投資にあたっては、ウエルス・スクエアからの助言に基づき、定性評価・定量評価等を勘案して指定投資信託証券の選定および投資信託証券への配分比率の決定を行ないます。

◆ウエルス・スクエアはポートフォリオの構築にあたり、投資信託証券の期待リターンやリスク水準等の定量分析および投資環境等の定性判断等に基づき、投資配分比率に関する助言を行ないます。

◆組入投資信託証券については適宜見直しを行ないます。

◆指定投資信託証券は定性評価、定量評価等を勘案して適宜見直しを行ないます。この際、指定投資信託証券として指定されていた投資信託証券が指定から外れたり、新たな投資信託証券が指定投資信託証券として指定される場合もあります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

下記の事項は、この投資信託をお申込みされるご投資家の皆様に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。
お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

投資リスク

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式、債券およびREIT等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落、金利変動等による当該債券の価格下落、当該REITの価格下落や、当該株式の発行会社、当該債券の発行体および当該REITの倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、実質的な取引対象とする商品等取引固有の要因により、基準価額が下落することがあります。また、世界各国の株式・債券・REIT・商品等への実質的な投資に加えて、デリバティブ取引・為替予約取引等を実質的に活用し、ロング・ポジションあるいはショート・ポジションを実質的に構築しますので、実質的な投資対象市場が上昇した場合でも、収益が得られない場合や損失が発生する場合があります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、取引先リスクなどがあります。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【当ファンドに係る費用】

ご購入時手数料	ありません。
運用管理費用(信託報酬)	<p>ファンドの純資産総額に年1.155%(税抜年1.05%)以内(2019年6月25日現在年0.33%(税抜年0.30%))の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。</p> <p>○実質的にご負担いただく信託報酬率(注) 年1.30%±0.05% 程度(税込)+成功報酬</p> <p>(注)ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。この値は、2019年6月25日現在のものであり、指定投資信託証券の変更等により今後変更となる場合があります。なお、投資対象とする投資信託証券には、運用実績に応じて成功報酬がかかるものがあります。</p> <p>*ファンドがETFに投資する場合は、上記の信託報酬に加え、投資するETFに関連する費用がかかります。</p>
その他の費用・手数料	<p>組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。</p> <p>※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。</p>
信託財産留保額(ご換金時)	1万口につき基準価額に0.2%以内(2019年6月25日現在0.1%)の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◀分配金に関する留意点▶

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社
★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)
<受付時間>営業日の午前9時~午後5時
★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社>

野村アセットマネジメント株式会社
[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社>

野村信託銀行株式会社
[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

ファンドラップ(ウエルス・スクエア) オルタナティブ

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	○		○	
株式会社親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第3号	○			
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第6号	○			
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第43号	○			
FFG証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第5号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。